

たとえば、こんな
上瀬さんの1週間

役場では総合的な仕事を任されていて、土日も町のイベントや現場があり、出勤することも多いです。

Monday.....仕事

お客様が来たらこのカウンター越しに対応します。用事がなくても「顔を見に来たよ」って来られる方もたくさんいます。その身近な感じもいいところだと感じます。

Tuesday.....仕事

朝は職場でメールチェックして、その後は夕方まで担当する施設や農家などいろいろな現場をまわっています。

Wednesday.....仕事

役場内にいるときはメールチェックから来客と電話応対、資料や計画書の作成など事務作業は山ほど。職場の雰囲気はとてもよく、上司や同僚たちの優しさに癒されます。

Thursday.....仕事

職場でのミーティングは、特産品の新品企画やイベント計画など、いろいろなアイデアがポンポン飛び出します。

Friday.....仕事

日中のほとんど、公用車に乗って大台町を駆け回っています。町内の90%を森林が占めていて東西に細長い町なので広く感じます。

Saturday.....休み

仕事が休みなので自宅の倉庫でバイクをいじったり、川の状態を見ながら宮川へ鮎釣りに行ったりします。

Sunday.....休み

職場や普段からお世話になっている地元のお父さん、お母さん、同級生などの飲み会が頻繁にあります。大台町の居酒屋でも飲みますが、松阪に行くこともよくあります。

取材メモ

職場の内外で人気者の上瀬さん。様々な場所に住んだ経験があるからこそ、広い視野で大台町のことを見れているように感じます。また住む環境や人に対応し、馴染んで暮らしている適応力の高さや気遣いも、魅力的な上瀬さんでした！

上瀬さんの大台ライフ

SUZUKIの「グラストラッカー」が気に入りました！

250ccバイクで京都までツーリングに

いろいろな場所にバイクで行きたいですね

倒れても自分で起こせるサイズ感と重さが気に入っています

大学生時代からの趣味である中型バイクを通勤でも愛用しています。職場にもバイク仲間がいて、ツーリングに行ったり、学生時代の友人に会いにバイクで京都まで行くこともありますよ。

すっかりハマってしまった宮川での鮎釣り

8mの釣り竿を買いました！

ロッドや鮎タモ、鮎舟、仕掛けなどワゴン車の荷台は鮎釣り道具でいっぱいになっています

役場の先輩の影響で鮎釣りを始めて、よく宮川で友釣りをします。車には新調したばかりの道具が積んであります。まだビギナーなので、地元の鮎釣り大会で見ごとブビー賞を取りました(笑)。

家族の誰かが帰宅するまでいつもケージでお留守番してくれます

大台町の傾斜地にある豊かな自然の中で育つ伊勢茶

茶畑の四季の景色が楽しめます

伊勢茶の産地で、全国茶品評会でも何度も優秀な成績を収めています。実家のまわりはこの茶畑に囲まれていて、農家のおじさんたちと“今年のでき”について話しますよ。

4歳になるチワワのトッティは、お店で一目惚れして買いました。仕事が忙しく遅い帰宅になるのですが、トッティが寄ってきてくれると、疲れも吹き飛んでしまいます。

お財布事情

バイクや鮎釣りなど趣味にけっこうつぎ込んでますよ。あとはみんなで飲むお酒が大好きなので、行ける時は仕事帰りにでもついつい飲みに行ってしまうため、自宅までの帰りのタクシー代が大きいですね。(笑)

名古屋へはよく仕事や遊びで行きます

買い物や仕事の会合でよく名古屋に行きます。●名古屋へのアクセス／大台町から松阪駅まで南紀特急バス。JRまたは近鉄で名古屋駅へ。名古屋駅へは南紀高速バスでも行けます



都会にはまた戻れるけど家族は今しかないよね

京都から東京、そして三重の大台と環境が一変しましたね。

「私の場合は都会の暮らしに慣れて...とかではなく、今でも都会は好きなんです。大学があった京都も観光都市として華やかですし、就職で移り住んだ東京では超高層ビルで眼下に広がる夜景を見ながら仕事してたんです。ステキでしょ(笑)」

7年前にUターン転職をしたきっかけは？

「実家の母は私の帰郷を望んでいたため、さりげなく大台町役場の職員募集を知らせてくれて、採用試験を受けたのが縁ですね。来てみれば大台町は魅力的な町。都会ならではの仕事や生活はある程度味わったし、また行きたい時に挑戦すればいいかな。それよりも家族との時間は今しかない、と決断しました」

仕事が大変なのは都会も田舎も関係ないかな

今の役場の仕事は移住前と比べてどうですか？

「今は農業、観光、特産品やイベントの企画など、総合的な地域振興の仕事を担当しています。柚子農家や工事現場、川の状態を見るために毎日、作業服で走り回っていますよ。結局、仕事は

どこでも大変です。そういう意味では東京も地方も仕事の質には違いがないって思います。これまでいろいろ住んでみて、私は都会の高層ビル群も大台の溪谷もどちらも大好き。住めば都、といいますが、その土地で誰と何をするか、何ができるかをまず考えたい。結局決めるのは自分ですからね。私は自分に正直に判断した結果、三重に戻ってよかったと思っています」

大台町の柚子栽培名人・小椋様さんの柚子園でいつも指導を受けています

大台町役場で。撮影中も冗談を交えるユニークな愛されキャラ

わけ隔てなく仲がいい職場。いつも和気あいあいとしています

特産品として期待する柚子農家を手伝うための道具一式

縁あって三重に住んでいます

No.2

公務員

都会も田舎も好きだけど自分の大事なことを正直に

上瀬 裕美さん(34)

松阪で生まれ育ち、大学は京都へ。卒業後は東京の広告代理店で2年間編集系の仕事をを経て、大台町役場の職員として帰郷。現在の実家は宮川にある。

生まれ 松阪 学校 京都 仕事 東京 仕事 大台